

23日機輸通投第125号
平成23年7月25日

組合員各位

日本機械輸出組合
専務理事 倉持 治彦

「紛争鉱物対応サプライチェーン・マネジメント・セミナー」
～米国 SEC 規則への日本企業の実務対応アプローチについて～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当組合活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、米国では昨年7月に金融規制改革法（Dodd Frank Act）が成立したことにより、いわゆる「紛争鉱物」を使用した製品を製造する米国上場企業に対し、サプライチェーンにおける紛争鉱物に係る詳細調査（Due Diligence）を実施し、米国証券取引委員会（SEC）への報告と情報開示が義務づけられることになりました。これを受けて、米国 SEC 規則が本年8月～12月に公表される予定となっております。

当組合では、組合員企業の事前準備を図るべく、去る5月に「紛争鉱物使用製品サプライチェーン対応セミナー ～米国 SEC 開示規則と OECD ガイダンスへの日本企業の対応～」を開催したところ、数多くの聴講者に参集いただきました。しかしながら、当該制度は米国 SEC 規則の公表後、最初に開始する事業年度から適用されることになっており、当該規則による影響は紛争鉱物を使用する米国上場企業のみならず、鉱山・非鉄金属精錬会社や部材等を扱う中間サプライヤーまで広範囲に亘る日本企業に及ぶことが予想されます。このため、企業においては本件への対応を急ぐとともに、紛争鉱物に関するモニタリングや調達先との情報共有等を踏まえたサプライチェーンの調査・管理体制の構築が求められます。

そこで今回のセミナーでは、主に機械機器や部材等のサプライヤー企業の立場から、先進企業の実例紹介、リスクマネジメントに基づく合理的・効率的なクロスボーダー・サプライチェーン調査・管理体制の構築、紛争鉱物への取り組みに関する CSR・情報開示戦略など、日本企業のより組織的・実務的な対応策について解説いたします。

つきましては、ぜひこの機会をご利用いただき、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：平成23年8月9日（火） 14：00～16：30（開場13：30）

場 所：機械振興会館 6階会議室 6D-1～3（定員 120名）

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8（詳しくは以下の URL 参照）

http://jmcti.org/jmchomepage/shoukai/shozaichi/chizu/tokyo/tokyo_map.pdf

講演内容：①米国 SEC 規則案と海外企業の動き

②紛争鉱物対応に関する先進企業の実例と CSR・情報開示戦略

③調達先との情報共有、サプライチェーン調査・管理体制の構築施策

講 師：有限責任監査法人トーマツ エンタープライズリスクサービス

パートナー 久保 恵一 氏

パートナー 達脇 恵子 氏

ディレクター 西本 匡利 氏

参加費：無料（組合員及び招待者限定）

お申込み方法：セミナー参加ご希望の方は、8月5日（金）までに当組合ホームページ

（<https://www.jmcti.org/seminar/index.php3?sid=10211011>）からお申し込み下さい。

なお、定員になり次第、締め切りを繰り上げる場合がございます。

キャンセル方法：8月5日（金）までに下記事務局までご連絡願います。

※本セミナーの受講対象者は、企業の CSR 部門、経営企画部門、法務・コンプライアンス部門、調達・購買部門、IR 部門等の責任者の方々を想定しております。

※受講券の発行はございません。

※セミナー当日は、受付にお名刺をお渡しくださるようお願いいたします。

以上

ご不明な点がございましたら、下記事務局までご連絡下さい。

日本機械輸出組合 通商・投資グループ くらもと 庫元、長岡

Tel 03-3431-9348、Fax 03-3436-6455、<mailto:tohshi@jmcti.or.jp>